

二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

10月号

令和3(2021)年10月18日

国立市立国立第二中学校

校長 黒田 宏一

国立市富士見台3-30

電話 572-2187

ノーベル賞に思う

校長 黒田 宏一

天高く馬肥ゆる秋。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。天気の良い日に空を眺めるとその青さをひときわ濃く感じる季節となりました。とは言っても最高気温が30℃もあり夏と秋が同居しているような季節が続いています。気温差も激しく服装などに気を遣う時期でもあり、体調を崩す生徒も見受けられます。体調管理に気を付けて過ごすことが大切です。

さて、ここ10年くらい、毎年10月になると「今年のノーベル賞は、日本人の受賞はあるのでしょうか？」というニュースがよく聞かれます。今年は、アメリカ・プリンストン大学上席研究員の真鍋淑郎さんが受賞しました。アメリカ国籍を取得した人を含め、日本人では28人目、この10年でも11人目となります。真鍋さんの研究テーマは「地球温暖化」です。この言葉さえ知らない人が多かったといわれる1950年代から二酸化炭素の濃度が上昇すると大気や海に悪い影響を及ぼすことを世界に先駆け研究を進めてこられました。また、2015年にノーベル賞を受賞され、かつて都立墨田工業高校定時制で教師をされた経験のある大村智さんは、その教師時代、まじめに熱心に勉強に励む生徒の姿に心打たれ、「自分ももう一度勉強しなおそう。」と考え、大学の研究生となったことが受賞に至るまでの基礎となっているそうです。

「壁にぶつかったことが、ぼくに新しい道を開いてくれた。」と語った日本人受賞者がいます。2012年受賞者の山中伸弥さんです。医学に道に進み整形外科の研修医だったころ、不器用な山中さんは人が20分で終わる手術を2時間もかかってしまい、その上努力してもなかなか上達せず、指導医からは「ジャマナカ」と言われ自信を無くすばかり。研究者の道への方向転換を余儀なくされます。ところがその研究で新しい遺伝子を発見し驚きや感動とともに「自分にも苦しむ患者さんのために役に立てる可能性がある。」ことを自覚し、受賞につながるiPS細胞の開発を手掛けるまでになったのです。



ところで、かつての教え子に工業高校の機械科に進学した生徒がいました。ところが1か月余りで退学してしまいます。理由は機械に不可欠な潤滑油が体に合わず実習のたびに嘔吐を繰り返すことから夢だったモノづくり職人を断念することになってしまったのです。でも、その生徒と数年後に会ったときは、大工になっていました。「完成した家を見て、喜んでくれることがうれしくて。」と話してくれた姿に、人のために役立つとすることがいかに大切か、自分を支える力になるかを教えられたように思います。

世界最高峰の賞の一つとされるノーベル賞の趣旨は、「人類のために最高の貢献をする」であり、人の役に立つ研究であることが条件です。「ここまでの志で。」とは言わないまでも、人の役に立つという姿勢を大切にしたいものです。それが真鍋さんのような先を見通し粘り強く取り組もうとする姿勢、大村さんのような誰からでも学ぼうとする謙虚さ、山中さんのような困難に負けず挑戦する力をもつことなどに繋がるように感じます。中学生の皆さんにも「何のために学ぶのか。」「どんな生き方をしたいのか。」を考える機会にしてくれればと思います。

● 研究授業と楽しい授業アンケート

本校では昨年度から「わかった！できた！考えた！ 楽しい授業、感動のある授業。」を目指し、「授業が楽しくなれば学校が好きになる」という視点で授業改善に取り組んできました。今年度2回目の研究授業を9月7日5校時に行いました。その後の研究協議では、KJ法を活用し、研究授業での気づきを可視化し全体で共有しました。今後の授業改善に活かしていきます。



研究授業



教科ごとの KJ 法による協議



教科ごとの発表

また、生徒が考える「楽しい授業」と、先生が考える「楽しい授業」に違いがあったら、「誰もが好きな学校」に近づけません。そこで、2、3年生は4月に、1年生は7月に「楽しい授業アンケート」を行いました。その結果をまとめ、全校朝礼で報告しました。

3年生の自由記述欄には「いろいろな人の意見を聞いて議論して考えを深めるのが本当の楽しさだ。」「自分で試行錯誤して、つくったり書いたりして、自分の工夫次第で成長できる授業が楽しい。」「得意な人が苦手な人に教えて、全員ができるようになる授業が良い。」という意見が多数有りました。先生たちは、生徒の皆さんが社会に出たときに、自分の力で考えて工夫し、お互いに協力して高め合いながら生きていける人になって欲しいと願って授業をしています。二中の目指す「楽しい授業」は、3年生の意見にあったような授業です。生徒全員がそう思える二中を目指して先生たちも頑張っています。みんなで頑張りましょう！

● 生徒会役員選挙(9月10日)

生徒会役員選挙が行われました。今年度は例年よりも立候補者が多く、会長候補2名(定員1名)、副会長候補3名(定員2名)、総務候補5名(定員3名)が立候補し、会長、副会長、総務全てで、投票数を争うことになりました。2年生は体育館で、3年生は大型テレビが設置されている特別教室に各クラスごと移動し、1年生は各教室に大型テレビを運び、A組の生徒はそれぞれの交流級で、対面、放送(Google ミート)による立ち会い演説会を行いました。投票箱は全学年、本物の投票箱を使用しました。

どの候補者も二中の良き伝統を引き継ぎ、より良く発展させていくにはどうしたら良いか、抱負を熱く語っていました。生徒もどの候補者に投票したら良いか、真剣な眼差しで聞いていました。

今回の生徒会役員選挙については、選挙管理委員会が立ち会い演説会をコロナ禍の中で実施していくうえでの課題を委員会で主体的に話し合い、ICTの活用も含め工夫を重ね、課題を解決し円滑に進行することができました。

会長
副会長

総務



2年生・体育館



3年生・学習室 A



生徒会新役員

<10月の予定>

- 18(月) 放送朝礼 安全指導
- 19(火) 中央委員会
- 20(水) 午前授業
- 21(木) S C相談日
- 25(月) (3年)三者面談始 ※以降3年生は5校時で下校
~11月2日まで
- 27(水) (2年)校外学習(鎌倉方面)
- 28(木) S C相談日

<11月の予定>

- 2(火) (3年)三者面談終
- 3(水) 文化の日
- 4(木) (1年)研究授業 ※1年生のみ5校時あり S C相談日
- 5(金) 六小研究発表会 13:30~ 午前授業
- 8(月) 朝礼 安全指導
- 9(火) (3年)受験用写真・卒業アルバム個人写真撮影
- 10(水) 午前授業
- 11(木) 避難訓練 S C相談日
- 12(金) セーフティ教室(SNS関連)
- 15(月)~17(水) 期末考査